

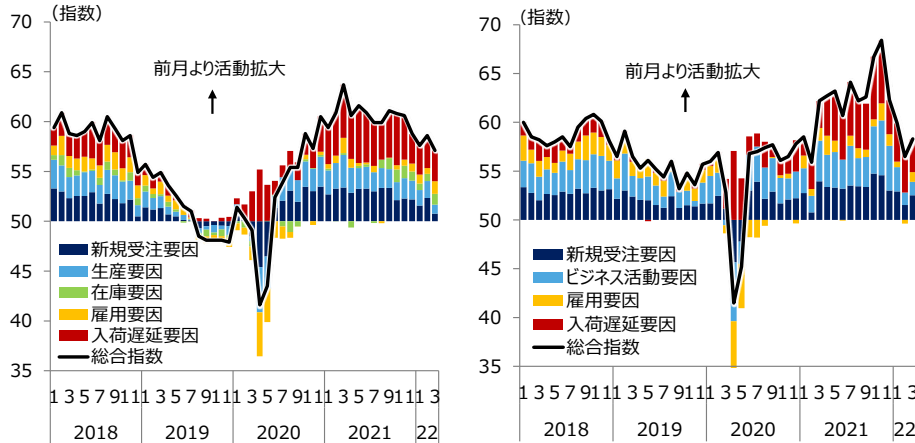
米国

ISM景況指数 (2022年3月)

ウクライナ危機が供給制約の悪化・コスト増につながり始めている

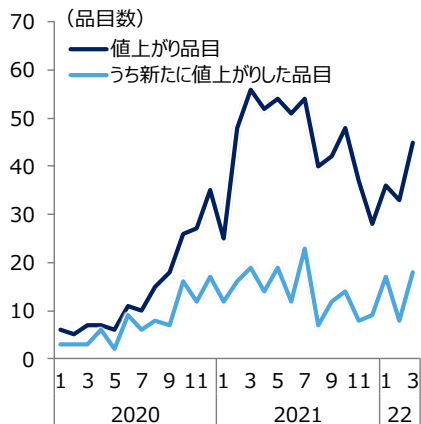
政策・経済センター  
田中高大  
03-6858-2717

1 ISM景況指数 (左: 製造業、右: 非製造業)



注: 調査項目について、前月と比べ「改善・変化なし・悪化」の3択で行った企業アンケート結果を加重平均して算出。  
出所: Institute for Supply Management® より三菱総合研究所

2 値上がり品目とロシアからの輸入額シェア (製造業)



値上がり品目	値上がり期間	品目 (HSコード)	左記輸入額のロシア比率
チタン	新	チタン (8108)	21%
合板	新	合板 (4412)	9%
ゴム	新	合成ゴム (4002)	7%
アルミ製品	3カ月	アルミニウム線 (7605)	7%
ニッケル	新	ニッケル (7502)	6%
大豆製品	3カ月	大豆 (1201)	5%
アルミニウム	22カ月	アルミニウム (7601)	5%
銅製品	新	銅線 (7408)	3%
ゴム製品	8カ月	配合ゴム (4005)	1%

注: 新たに値上がりした品目には、一度価格が低下して当月に再び値上がりした品目も含む。輸入額シェアは、米国の輸入額における、ロシアからの輸入額シェア。2021年のHSコード4桁をもとに作成。  
出所: Institute for Supply Management®, UN Comtrade より三菱総合研究所作成

評価ポイント

今回の結果

- 22年3月のISM製造業景況指数は57.1と低下した。項目別では、新規受注や生産、入荷遅延が低下した一方で、雇用、在庫は上昇した。サブ項目の仕入れ価格 (87.1) は前月から急上昇し、21年6月以来の高水準となった。
- 製造業を業種別に見ると、木材製品、石油・石炭の2業種では活動が縮小した一方、15業種では活動拡大を報告している。
- ISM非製造業景況指数は58.3と4カ月ぶりに前月から上昇した。項目別に見ると、入荷遅延が低下した一方で、ビジネス活動や新規受注、雇用が上昇した。サブ項目の仕入れ価格は前月から上昇 (83.8)、過去2番目の水準で高止まりしている。
- 非製造業を業種別に見ると、農林水産業を除く、17業種で活動拡大が報告された。

基調判断と今後の流れ

- 新規受注や生産・ビジネス活動は低下したものの、企業は強い内需を背景に堅調に推移している。ただし、ウクライナ情勢や中国のゼロコロナ政策などが調達コストの上昇につながっている兆しがある。
- 企業が「不足・値上がりした」と回答した品目数は3月に増加に転じている (図表2左)。チタンや合板など、3月に新たに値上がりしたと回答された品目の一部には、ロシアからの輸入比率が高いものもあることから (図表2右)、ウクライナ危機と対露制裁が既に企業活動の重しになり始めている可能性がある。
- 実際、企業担当者のコメントでは、家具メーカーや食料品メーカー、建設業などがウクライナ情勢による供給制約の悪化やコスト増を指摘している。
- 短期的にはウクライナ情勢の危機緩和や対露制裁の解除の見通しは立っておらず、今後も供給制約やコスト増加が企業活動を押し下げよう。